

## へえ、さすが余裕やなあ

電車の中で、自分の小学校六年の入試の時を思い出した。

「明日は、試験だから、今晚はゆっくり眠りなさい。」とお母ちゃんに言われて、早く寝た。

朝、おばあちゃんに起こされて、用意したが、お父ちゃんもお母ちゃんも、なかなか起きて来なんだ。

おばあちゃんが、寝室へ起こしに行くと、お父ちゃん寝過ごして、すぐ、服来て、朝食取らず、外へ出た。

お父ちゃんは、今日は僕の受験の付添いだ。父兄面接もある。

家の前の電車で、タクシーを待ったがなかなか来ない。

五分、十分が過ぎた。

お父ちゃんと僕はじっと待った。

そのうち、やっと、白タクが来た。

よかった、よかった、と、

お父ちゃんは、運ちゃんに頼んで、飛ばして行った。

学校に着くと、外は人の気配はまったくない。